

交通政策審議会答申案に関する市長コメント

本日、交通政策審議会の答申案が明らかとなりました。

本市における鉄道ネットワークの拡充は、首都圏南西部の発展とそれを支える本市の広域交流拠点都市の形成に不可欠であり、交通政策審議会においても、その意義を認めていただき、大変喜ばしく思っております。

これまで、本市といたしましては、本答申に向け、多くの方々の御理解と御協力をいただきながら取り組んできたところであり、関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。

小田急多摩線の唐木田駅から J R 相模線上溝駅までの延伸については、収支採算性の課題等が示されていますが、これらの指摘については真摯に受け止め、課題の解決や、関係機関との合意形成に向け、一日も早い延伸の実現を目指し取り組んでまいります。

上溝駅から本厚木駅までの延伸については、上溝駅までの整備の進捗状況を踏まえつつ検討することが適当とされていることから、関係自治体等と連携を図りながら、検討の更なる深度化を進めてまいりたいと考えております。

また、リニア中央新幹線との関係において、橋本駅における乗換利便性の向上や同駅に接続する相模線の輸送サービスの改善について記載されておりますが、これらについては、同駅周辺地区における広域交流拠点のまちづくりに必須の事業であることから、関係機関と連携を図りながら、引き続き積極的に取り組んでまいります。